

## 平成23年度「実践予報技術講習会実践コース」冬の受講者募集の案内

### 1 開催期日

2月8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)の4回  
各回とも午後7時～9時

### 2 会場

東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル4F講習室

### 3 講習対象者

気象予報士または同等の気象学の知識の習得者で気象業務に関わりたい方、既に気象業務に関わっている方

### 4 講習内容

様々な気象現象とりわけ顕著な事例の構造や振る舞いについて、実践的な予報技術や防災解説情報の作成の習得を目的とし、本講習会では、基本コースで冬の天候変化を支配する「低気圧の発達」に着目し、その過程に関するさまざまな事例を取り上げることで多角的に気象現象を観る経験を積み重ね、量的な予測手法を実習も交えて会得し、その成果を防災情報に集約させる演習を行う。

- ・基本コースで学んだ低気圧の発達に関係する構造や現象の変化を様々な事例で確認
  - ・顕著事例による気象解析と量的な予想組み立ての実習
  - ・各種防災情報の最新の運用に関する理解
  - ・実況、予想資料、防災情報等を用いて、現象ステージに合せた解説文の作成の実習
- また、講義のはじめには、「クイックルック」として最寄りの顕著な気象現象等に対する解説を行う。

### 5 講義形式

講義は講話と実習を組み合わせで行う。

講話は、プロジェクターを用いるが、一部の気象資料はPC 端末にも表示して利用する。

実習はPC 端末(1人1台)を用い、各種気象資料を表示できる環境で行う。

### 6 教材

講話に関する部分についてはテキストとして事前配布する。

実習は、PC に表示される気象観測・予測資料により行うが、表示される資料の一部(基本的な資料)は、紙またはCD による提供を行う。

### 7 講師

入田 央 氏

(長年気象庁の予報現場にかかわり、かつ、若手予報官の指導を行ってきた予報のエキスパート)

ただし、講義内容によっては別の専門講師が担当することがある。

## 8 募集定員

20名

## 9 受講料

15,000 円（税込 教材費を含む）

なお、当センターの賛助会員の方は受講料の10%を割引かせて頂きます。

## 10 申込方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込先へ郵送、FAX又はE-Mailでお申し込みください。

受講申し込みは先着順に受け付け、「請求書」を送付しますので、受講料を指定の銀行口座に振り込み願います。一旦納入された受講料の返金には応じかねますのでご承知おき願います。

受講申し込みは定員になり次第締め切らせていただきます。

## 11 申込先・問合せ先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル

（財）気象業務支援センター「実践予報技術講習会実践コース」担当

TEL：03-5281-0440 Fax：03-5281-0443 E-Mail：methiroba@jmbsec.or.jp

平成23年度「実践予報技術講習会実践コース」受講申込書

(2月開講分)

ふりがな 氏名	
住所 (または請求書送付先)	(〒 - )
電話番号	(固定) (携帯)
Fax番号	
E-Mail	
週日昼間の連絡先：以下のいずれかに○を記入してください。 ( )留守電 ( )携帯 ( )E-Mail 上記以外の電話番号 ( )	
賛助会員の方	会員番号：

当センターの賛助会員は、受講料の10%割引が受けられますので、会員番号を記入して下さい。

宛先 (財)気象業務支援センター「実践予報技術講習会実践コース」担当  
 Fax：03 - 5281 - 0443  
 E-Mail：methiroba@jmbsec.or.jp